

公益財団法人応用科学研究所

令和 6 年度定時評議員会議事録

1. 開催日時 令和 6 年 6 月 18 日（火）14：00～15：00

2. 開催場所 公益財団法人応用科学研究所森記念研究棟 2F 会議室
京都市左京区田中大堰町 49 番地

3. 評議員現在数及び定足数

現在数 10 名、 議案の定足数 6 名（通常議題）

4. 出席評議員数 9 名

（評議員出席）上田 圭志、大野 正夫、仁田 旦三、浜田 誠一郎、平尾 一之、松原 厚、
三阪 佳孝、森 雅彦、吉田 英生、

（監事出席）西 亨、村上 博保

（理事陪席）大原 久典、川寄 一博、北野 正雄、久保 愛三、成宮 明、野村 俊雄、
松岡 裕明、

（議案説明及び報告）久保理事、野村理事、成宮理事

5. 議題 第 1 号議案『令和 5 年度事業報告書及び附属明細書、収支決算書及び附属明細書
並びに財産目録の承認』を求める件
第 2 号議案『理事の補欠選任』に関する件
第 3 号議案『評議員の補欠選任』に関する件

報告事項 1. 理事会報告

2. 公募共同研究プロジェクト rIas_X3 の成果概要

6. 開会・議長選出並びに議事録署名人選出

定刻 14：00 に出席予定者全員が出席。久保理事長の挨拶の後、事務局から本日の出席者について、評議員 9 名の出席と監事 2 名の出席、及び理事 7 名の陪席で、会議は成立していることが報告された。続いて、定款第 25 条の規定に基づき出席評議員の互選により、仁田旦三評議員が議長に選出された。

評議員会議長が開会を宣し、まず定款第 30 条に、議事録には議長と、出席した評議員のうちから選出された 2 名が記名押印することとなっている旨の説明があった。議長から平尾評議員、並びに松原評議員が指名され、両人もそれを承諾し、議長及びこの両評議員が議事録署名人となった。引き続き議案の審議に入った。

7. 議事の経過の概要及びその結果

第 1 号議案 『令和 5 年度事業報告書及び附属明細書、収支決算書及び附属明細書並びに財産目録

の承認』を求める件

議長の求めにより、まず事務局から詳細の説明が行われた。引き続き、議長から、去る 5 月 22 日に公益財団法人応用科学研究所応接室において行われた監事監査の結果について、監事の報告が求められ、西監事から業務監査の結果について、監事監査規程に基づき、事業報告書及び理事の職務の執行について問題がなかったことが報告された。また村上監事からは、監事監査規程に基づき、会計帳簿並びに関係書類の閲覧を行い、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める旨、報告された。

これらの報告に基づき、第 1 号議案について議長から各評議員の意見が徴された後、全員異議なく、本件は可決承認された。

第 2 号議案 『理事の補欠選任』に関する件

議長の求めに応じて 事務局からから下記の説明があった。

本法人では、本年 1 月から 3 年計画で始まった、公募プロジェクト rIas_X4 プロジェクトを初めとする歯車技術関連プロジェクトの拡大により、事務局機能に対し専門性に長けた人材のサポートが必要な状況となっている。現在評議員の大野正夫氏は前職で、パワートレイン開発や歯車関連技術を統括されてきた実績があり、上記支援を仰ぐべき人材として適任。一方、現在理事の仲田摩智氏が、本定時評議員会終了をもって理事を辞任されるご意向の為、定款第 35 条第 3 項補欠選任の規定により大野正夫氏を仲田摩智氏の残り任期である令和 7(2025)年定時評議員会までの補欠理事候補として推薦する。また、同氏は評議員の任期途中であるものの、今回の理事候補への推薦を受け、本定時評議員会の終了をもって評議員を辞任される予定との説明があった。

議長は、以上の事務局からの提案内容について評議員会に諮り審議を行った結果、全員異議なく、本件は可決承認された。

第 3 号議案 『評議員の補欠選任』に関する件

議長の求めに応じて、事務局から下記の説明がなされた。

本法人の現理事・仲田摩智氏は、昨年 6 月の定時評議員会で理事に選任された後、新たに産業技術短期大学の学長に就任され、本務が極めて多忙な状況にあるとのこと。また、同氏は、職歴に見られるように長年にわたり金属材料の設計・製造から営業を含む事業運営、会社経営まで色々なポジションで活躍され、社内のみならず社外でも人望が高い。よって今後は本法人の評議員として大所高所からご意見アドバイスを頂くのが相応しいと考えられる。一方、現評議員・大野正夫氏の方は、第 2 号議案が裁可されれば本定時評議員会終了をもって評議員を辞任されるご意向の為、評議員について定款第 18 条第 2 項の規定に基づき、仲田摩智氏を大野正夫氏の残り任期である令和 9(2027)年定時評議員会までの補欠評議員候補として推薦する。また、同氏は理事の任期途中ではあるものの、今回の評議員候補への推薦を受け、本定時評議員会の終了をもって理事を辞任される予定との説明があった。

議長は、以上の事務局からの提案内容について評議員会に諮り審議を行った結果、全員異議なく、本件は可決承認された。

8. 報告事項

議長はこれまでに開催された理事会について事務局に報告を求めた。

事務局から、令和 5 年 6 月 15 日の定時評議員会終了以降、理事会は、定時評議員会直後に開催の第 2 回理事会、本年 3 月 18 日の第 3 回理事会、及び 5 月 31 日の令和 6 年度第 1 回理事会の計 3 回開催されました。第 2 回理事会、第 3 回理事会については、その議事録が全評議員に知らされているので、今回は本年 5 月 31 日開催の令和 6 年度第 1 回理事会議事録のみを報告資料として添付し、説明は省略するとの報告があった。

続いて、もう一つの報告事項として久保理事長より、公募共同研究プロジェクト rIas_X3 の成果概要についての報告がなされた。

以上をもって、全ての議案の審議は終了したので、議長は閉会を宣し、解散した。

上記の決議を明確にするため、定款第 30 条第 1 項及び第 2 項により、評議員会議長、及び指名された 2 名の評議員が議事録署名人としてこれに署名、押印する。

令和 6 年 6 月 18 日

公益財団法人応用科学研究所令和 6 年度定時評議員会

議事録署名人

評議員会議長 仁田 旦三

評議員 平尾 一之

評議員 松原 厚